

令和7年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	墓園事業費特別会計	所管課 (旧所管課)	福祉総務課
まちづくりテーマ			
4都市の機能と活力を高める			

2 施策概要・指標

事業目的及び必要性
公園墓地としての環境整備を図り、利用者にとって安全で快適な場所を提供するとともに、市民の墓地需要に継続して応じる。
2030年又は事業終了時の望ましい姿
・公園墓地としての環境整備を図るとともに、利用者にとって安全で快適な場所を提供する。 ・市民の墓地需要を踏まえ、新たな墓地形態を導入するとともに、公共墓地としての運営を継続する。
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」
① 公共施設を次世代のために、より良い状態で引き継いでいると感じますか？
②

3 指標の推移

		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
意識調査結果	①	点	2.77	2.71	2.79
	②				
市民意識調査以外の市民ニーズの把握方法及びその内容					
2020年3月に市民4,000人を対象として「墓地に対する市民アンケート」を実施した。 (回答数 1,463人、回答率 36.6%) 多様化する墓地需要等に関する動向、情勢を把握した。					
EBPMなど政策の立案や効果測定に必要なデータ等					
社会情勢等					
墓所使用区画総数は増加しており、市民の墓地需要は高い。平面墓地等の再募集に多数の申込がある一方、承継者不在等による墓じまいや永代供養墓の利用希望者も増加傾向にあり、墓地需要に対する市民のニーズが多様化している。					
他市等の事例(本市の独自性があればその内容)					
川崎市緑ヶ丘霊園 合葬型墓所 ・遺骨を袋に入れて埋蔵する形式で約20,000体の埋蔵が可能(一度埋蔵した遺骨の改葬は不可) ・使用料:1体あたり70,000円 ・管理料:1体あたり30,000円(永年分)					
把握した市民ニーズ、議会からの意見等への対応					
「墓地に対する市民アンケート」の結果に基づき、2021年3月に市民ニーズを反映した大庭台墓園立体墓地再整備基本構想を策定した。なお、建築資材の高騰等により、合祀墓のみの建設計画に変更し、令和7年10月の竣工に向けて工事を進めている。					

4 施策の評価

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由			
まちづくりコンセプト	☐ サステナブル藤沢	☒ インクルーシブ藤沢	☐ スマート藤沢
市営墓地には、市民が承継者の有無や経済的な理由によらず墓地を取得できるよう、受益者負担を原則としながらも、経済的負担をできる限り軽減するよう努める役割があるため。			
貢献する主なSDGsのゴール			
①	住み続けられるまちづくりを		
②	陸の豊かさを守ろう		
③			
関連する計画の有無(ある場合は計画の名称)			
有無	有		
第3次公共施設再整備プラン			

令和7年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	介護保険事業費特別会計	所管課 (旧所管課)	介護保険課ほか3課
まちづくりテーマ			
2健康で豊かな長寿社会をつくる			

2 施策概要・指標

事業目的及び必要性
一般介護予防事業については、介護予防やフレイル予防についての普及・啓発を図るため、各種事業を実施する。 包括的支援事業については、地域での生活の継続を支援するため、地域包括支援センターによる介護予防ケアマネジメント及び、認知症施策等を推進する。
2030年又は事業終了時の望ましい姿
地域共生社会の実現を目指し、地域包括ケアシステムの推進に向けた介護予防・日常生活支援総合事業をはじめとする地域支援事業の各種サービスを実施し、高齢者の自立支援・重度化防止等を実現する。また、高齢者となっても、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、複雑化・複合化する高齢者の生活課題に包括的に対応していくための相談体制や支援の充実を図る。
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」
① 高齢者の在宅・介護サービス
②

3 指標の推移

	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
意識調査結果	①	点	3.02	2.98
	②			2.95
市民意識調査以外の市民ニーズの把握方法及びその内容				
令和4年度に「藤沢市高齢者の保健・福祉に関する調査」を実施し、施策や事業の主な対象となる高齢者の意識・意向やニーズなどを調査した。藤沢市高齢者施策検討委員会において、各種高齢者施策について、進行管理を中心に審議を行った。				
EBPMなど政策の立案や効果測定に必要なデータ等				
藤沢市将来人口推計、藤沢市の高齢者人口				
社会情勢等				
日本の総人口は減少傾向だが、高齢者人口は増加傾向が続いている。藤沢市の人口は2035年をピークに減少傾向に転じる見込みだが、高齢者人口については、65歳から74歳の人口が2040年にピークとなり、さらに75歳以上の人口は、その後も急激に増加する見込みである。				
他市等の事例(本市の独自性があればその内容)				
一般介護予防事業において、歩行姿勢の測定を事業評価に活用している。				
把握した市民ニーズ、議会からの意見等への対応				
「藤沢市高齢者の保健・福祉に関する調査」の調査結果や藤沢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会等において審議した内容等をもとに令和5年度に「いきいき長寿プランふじさわ2026」を策定した。				

4 施策の評価

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由			
まちづくりコンセプト	☒ サステナブル藤沢	☐ インクルーシブ藤沢	☐ スマート藤沢
一般介護予防事業については、介護予防やフレイル予防に関する普及啓発や正しい知識の習得機会の提供を行うことで、高齢者が住み慣れた地域で安心して、いつまでも自分らしい生活を送ることができるように支援しているため。 包括的支援事業については、認知症施策において、「新たな認知症観」を踏まえたうえで多様な主体と連携して推進するため。			
貢献する主なSDGsのゴール			
①	パートナーシップで目標を達成しよう		
②			
③			
関連する計画の有無(ある場合は計画の名称)			
有無	有		
いきいき長寿プランふじさわ2026			